



新着本案内3月号

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館
令和4年3月4日

ちくまQブックス

- 『未来のきみを変える読書術』
苦野一徳著 (019/ト)
- 『100年無敵の勉強法』
鎌田浩毅著 (375/カ)
- 『きみの体は何者か』
伊藤亜紗著 (469.9/イ)
- 『植物たちのフシギすぎる進化』
稲垣栄洋著 (471/イ)



- 『アレにもコレにも!モノのなまえ事典』
杉村喜光文/大崎メグミ絵 (031.8/ス/1)
- 『まだある!!アレにもコレにも!モノのなまえ事典』
杉村喜光文/大崎メグミ絵 (031.8/ス/2)



知っているようで実は知らないモノの名前が大集合!クイズ形式で楽しく覚えることができます。

- 『自分の意見で生きていこう』
ちきりん著 (159/チ)



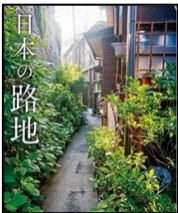
SNS時代における意見の価値を考察し、生きづらさやリーダーシップ問題などリアルな社会やコミュニティにおける課題をもちいて意見を持つことの意義を問います。

- 『恋する日本史』
『日本歴史』編集委員会編 (210.04/ニ)



第一線で活躍する歴史学・国文学などのエキスパートが、天皇から庶民にいたるまで、日本史のなかの知られざる恋愛エピソードを紹介しています。

- 『日本の路地』
パイインターナショナル編著 (291.08/パ)



その町で暮らす人々の息遣いが聞こえてくるような、町なかの昔からある狭い道・路地の美しい情景を堪能できる一冊です。

- 『人新世の「資本論」』
斎藤幸平著 (331.6/サ)



☆「新書大賞2021」受賞作☆
人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」を解決するためのプロセスを、世界的に注目されている著者が書き出します。

- 『フェイクニュースの生態系』
藤代裕之編著 (361.45/フ)



選挙やコロナ禍のデマを事例に、ソーシャルメディア、ミドルメディア、マスメディアの相互作用によってフェイクニュースが生成・拡散するプロセスを分析する本です。

- 『空を見るのが楽しくなる!雲のしくみ』
荒木健太郎著/津田紗矢佳著 (451.61/ア)



雲のでき方やメカニズム、台風や集中豪雨などの自然災害をもたらす雲の内部で何が起きているかなどを、写真やイラストとともに解説しています。

- 『海獣学者、クジラを解剖する。』
田島木綿子著 (489.6/タ)



日本一クジラを解剖してきた研究者が、七転八倒の毎日とともに海の哺乳類の生態を紹介する科学エッセイです。

- 『地球を飛び出せ!宇宙探査』
荒松良孝著/的川泰宣監修 (538.9/ア)



小惑星探査技術を成熟させた「はやぶさ2」をはじめ、太陽系の惑星、小惑星から系外惑星、有人宇宙探査までを、写真や図とともに解説しています。

- 『ディズニーキャストざわざわ日記』
笠原一郎著 (689.5/カ)



東京ディズニーランドで8年間にわたってカストーディアル(清掃)キャストを務めた著者が、「夢の国」の「ありのまま」の姿を伝えます。

- 『MINIATURE LIFE at HOME』
田中達也写真・編集・デザイン (748/タ)



ミニチュア写真家・田中達也の10周年記念作品集です。ミニチュアの世界を楽しんでください。

文学

- 『捜査線上の夕映え』
有栖川有栖著 (913.6/アリ)



大阪の場末のマンションの一室で、男が鈍器で殴り殺された。金銭の貸し借りや異性関係のトラブルで、容疑者が浮上するも…。

- 『ミチクサ先生 上・下』
伊集院静著 (913.6/イジ/1-2)



夏目家の「恥かきっ子」と呼ばれた夏目漱石の青春を描く。

- 『悪い夏』染井為人著 (913.6/ソメ)



☆第37回横溝正史ミステリ大賞優秀賞受賞作☆
ケースワーカーとして働く守は、同僚が生活保護の打ち切りをちらつかせ、女性を脅していることを知る。

- 『スター・シェイカー』
人間六度著 (913.6/ニン)



☆第9回ハヤカワSFコンテスト大賞受賞作☆
人類がテレポート能力に目覚めた近未来で、超越的な能力に目覚めた少年は宇宙の根幹に関わる秘密を知ってしまう。

- 『滅私』羽田圭介著 (913.6/ハダ)



必要最低限の物だけで生活するミニマリストの男。物欲から解放され自由を得たはずが、なお因果は尽きず…。ミニマリズムの果てに待ち受けるのは?

- 『écriture新人作家・杉浦李奈の推論 1・2』
松岡圭祐著 (913.6/マツ/1-2)



事件の鍵は本の中にあり——。出版界を巡る文学ミステリ。

- 『スモモの木の啓示』
ショクーフェ・アーザル著/堤幸訳 (929.93/アザ)



13歳の少女・バハールの目を通してイスラーム革命に翻弄される一家の姿を、時に生々しく、時に幻想的に描く。

- 『はまったら抜けだせない現代ロシア小説傑作選』
沼野充義, 沼野恭子編訳 (983/ヌマ)



英雄ガガーリンの母が(地球の心臓部)に突き進む「空のかなたの坊や」など、ユニークな12編を収録した、現代ロシア小説のアンソロジー!

文庫

- 『荘園の人々』工藤敬一著 (210.4/ク)
- 『文豪はみんな、うつ』岩波明著 (910.26/イ)
- 『蒼海館の殺人』
阿津川辰海著 (913.6/アツ/2)
- 『看守の流儀』城山真一著 (913.6/シロ)
- 『Re:ゼロから始める異世界生活 28』
長月達平著 (913.6/ナガ/28)
- 『丘の上の賢人』原田マハ著 (913.6/ハラ)
- 『彼女が最後に見たものは』
まさきとしか著 (913.6/マサ/2)
- 『わたしを離さないで』
カズオ・イシグロ著/土屋政雄訳 (933.7/イシ)



☆特別貸出実施予定☆

貸出冊数: 1人5冊まで
貸出期間: 3月7日(月)~
返却日: 4月6日(水)